

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 新公益法人会計基準に基づき作成している。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・期末退職給付の要支給額に相当する額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当預金	221,202	20,043		241,245
合計	221,202	20,043	0	241,245

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産から の充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
退職給付引当預金	241,245	(0)	(1,245)	(240,000)
合計	241,245	(0)	(1,245)	(240,000)

4. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

科目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
	0	0	0
合計	0	0	0